

付属施設

開放型加工研究棟



各種の水産加工機械や分析機器を備え、センターの指導の下で自ら水産加工食品の開発・改良や栄養成分分析、品質検査を行うことができます。



また随時、技術相談や講習・研修を行っています。事前に申し込みをいただければ施設をご利用いただけます。

お問い合わせ先：流通加工研究室
TEL:0470-43-1233

研修館



のり養殖技術や貝類増殖技術など内湾漁業経営に必要な技術・知識を普及するための研修等を実施することができます。

お問い合わせ先：東京湾漁業研究所
TEL:0439-65-3071

内水面水産研究所見学施設

内水面水産研究所の研究や施設の紹介などの他、県内に生息する淡水魚などを飼育し、展示しています。



お問合せ先：内水面水産研究所 TEL:043-461-2288

船 舶



漁業調査船 千葉丸
全長：42.22m
総トン数：179ト
主機関：ディーゼル1330kW×1
航毎速力：14ノット
定員：船員18名、調査員2名



漁業調査船 ふさみ丸
全長：30.51m
総トン数：62ト
主機関：ディーゼル956kW×1
航毎速力：13ノット
定員：船員10名、調査員2名



東京湾調査・指導船
ふさなみ
全長：20.00m
総トン数：19ト
主機関：ディーゼル809kW×1
航毎速力：18ノット
定員：船員4名、調査員他20名

種苗生産研究所 富津生産開発室見学施設

栽培漁業の啓蒙・普及のため、展示コーナーを見学者に開放しています。



展示内容

- ・種苗生産される魚種（展示水槽）
- ・施設の紹介
- ・千葉県の栽培漁業
- ・東京湾の生態系
- その他

お問合せ先：種苗生産研究所 富津生産開発室 TEL:0439-65-4367

千葉県水産総合研究センター要覧

発行
令和3年4月1日
千葉県水産総合研究センター
千葉県南房総市千倉町平磯249



水産総合研究センター（千倉本所）



東京湾漁業研究所



内水面水産研究所



種苗生産研究所（富津）



種苗生産研究所（勝浦）

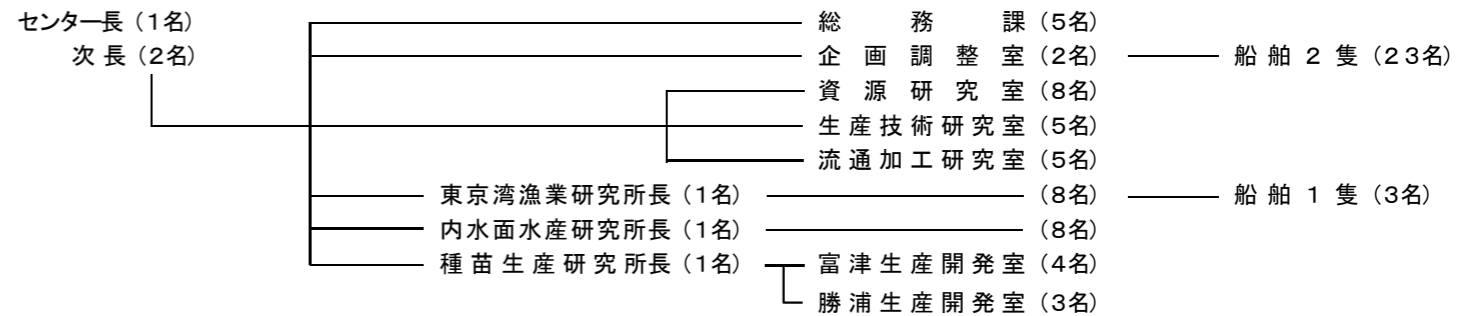
当センターでは、千葉県農林水産業振興計画に基づき、下記の基本目標・研究体系のもと62の研究課題（小課題）に取り組んでいます。

千葉県水産総合研究センター研究推進方針

「千葉県農林水産業振興計画（平成29年12月）」【試験研究の充実】水産（抜粋）

基本目標	具体的な取組	大課題
1 収益力の高い水産業を目指した試験研究の強化	◇ 漁海況予測技術の向上による漁海況情報の高度化及び漁業操業の効率化 ◇ 環境変化に対応した養殖技術の開発	的迅速な漁海況把握と予測技術の確立 水産養殖技術の確立 疾病対策の確立
2 水産物の高付加価値化を目指した流通加工技術の開発	◇ マーケットが求める水産加工品の開発 ◇ 新鮮度保持技術の改良と衛生管理技術の向上	未・低利用資源の有効活用技術の開発 漁業者及び水産加工業者が行う資源有効利用 水産加工業者が行う新製品開発の支援 水産加工品の品質向上・衛生管理技術の開発 生鮮水産物の高鮮度流通技術の開発 生鮮水産物の衛生管理及び品質管理の推進
3 自然の再生産力を最大限活用した資源管理の強化	◇ 水産資源の的確な評価・診断技術の向上 ◇ 資源状況に応じた的確な管理方針の提示	水産資源の動態及び資源生態の解明 水産資源管理を支援する漁具・漁法の開発 水産資源の予測・管理技術の高度化
4 沿岸重要資源の持続的な造成及び魚場造成技術の開発	◇ 種苗生産における健苗性及び放流効果の向上に向けた技術の開発 ◇ 魚介類の生活史や漁場特性を生かした増殖技術の開発	良質な放流用種苗の効率的で安定的な量産技術の開発 水産資源増殖手法の開発及び効果の評価 人工魚礁の機能及び効果の解明
5 漁場環境変動への対応の強化	◇ 漁場環境変化の的確な把握と被害軽減技術の開発 ◇ 河川湖沼における環境変動への対応の強化	漁場環境持続性の解明 漁場環境変動予測技術の確立 漁場環境変動が水産生物に与える影響の解明 水域環境の多面的機能の評価 水生生物の生息環境保全技術の開発 水産資源の動態及び資源生態の解明（内水面） 水産資源増殖手法の開発及び効果の評価（内水面）
6 豊かな東京湾の漁業生産を支える技術開発の強化	◇ アサリを主体とする二枚貝類の資源再技術の開発 ◇ ノリ養殖における生産性向上技術の開発	事業化を目指した種苗生産技術の開発（東京湾） 水産資源増殖手法の開発及び効果の評価（東京湾） 環境変動に対応した生産技術開発（東京湾） 水産養殖技術の確立（東京湾） 高生産性品種の育成

組織の紹介



案内図



水産総合研究センター

〒295-0024 南房総市千倉町平磯 2492
TEL: 0470-43-1111(代) FAX: 0470-43-1114
交通: JR 内房線千倉駅下車 館山日東バス白浜行 13分 「安房川口」下車 徒歩 8分

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091
TEL: 0439-65-3071 FAX: 0439-65-3072
交通: JR 内房線大貫駅下車 徒歩 20分

内水面水産研究所

〒285-0866 佐倉市日井台 1390
TEL: 043-461-2288 FAX: 043-460-1340
交通: 京成日井駅下車 徒歩 25分

ホームページ（平成12年開設） URL: <http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-suisan/>

最新の事業内容・各種刊行物などが御覧いただけます。

当センターの業務に関するご意見ご要望もお待ちしております。

〇見学のご案内〇

見学期間：土・日・祝日・年末年始を除く毎日
見学時間：午前10時～午後5時

流通加工研究室 銚子分室

〒288-0001 銚子市川口町 2-6385-439
TEL: 0479-24-9796 FAX: 0479-24-3699
交通: JR 総武本線銚子駅下車 千葉交通バス 川口黒生・ホ-トセンター行 20分 終点下車 徒歩 2分

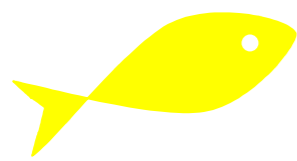
種苗生産研究所 富津生産開発室

〒293-0042 富津市小久保 2568-38
TEL: 0439-65-4367 FAX: 0439-65-2979
交通: JR 内房線大貫駅下車 徒歩 30分

種苗生産研究所 勝浦生産開発室

〒299-5233 勝浦市浜勝浦 178-17
TEL: 0470-73-5575 FAX: 0470-73-7577
交通: JR 外房線勝浦駅下車 徒歩 20分

見学内容：各施設にお問い合わせください。
※団体の場合には事前にご連絡をお願いします。



水産総合研究センター業務の紹介

総務課

センターの円滑な運営のため、施設・財産の維持管理及び総合調整に関する業務を行っています。

企画調整室

試験研究に関する企画調整・管理、評価に関する業務、試験研究に関する情報の収集等、センター内や外部機関との研究の連携を円滑にする企画・調整業務を行っています。

また、所属船舶を効果的に運航できるよう管理・調整をしています。



試験研究成果発表会の様子



調査船の運航管理

資源研究室

漁業の効率的操業と経営安定を図るため、漁況情報を収集・解析し、それらの現況及び予測情報の的確・迅速な提供を行っています。

また、水産資源の持続的利用をめざし、その評価・管理に関する調査研究を行うとともに、資源増大のための種苗放流技術開発と効果調査を行っています。



潜水によるアワビ資源調査



トラフグの標識放流試験

生産技術研究室

漁業を支える水産資源の維持増大を図るため、漁場・生育場の環境について、藻場消失原因の究明と回復技術指導、人工魚礁の集魚特性調査、外房沿岸海域の環境調査を行っています。

また、資源を増大する技術について、放流用種苗の大量生産における疾病の診断・防除対策指導、バイなど新たな魚種の量産技術開発を行っています。



藻場消失原因調査



人工魚礁調査に使用するROV(水中テレビロボット)

流通加工研究室

消費者に高品質な水産物を供給するための品質保持技術の開発や、マサバ類などの多獲性魚類を原料に新たな水産加工品を開発する研究などを行っています。

また、加工技術及び品質管理に関する普及指導を行っています。



水産加工品成分分析

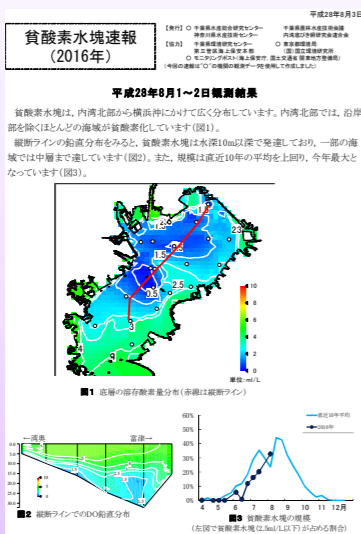


生タイプしめ鯖の開発

東京湾漁業研究所

東京湾ののり養殖について、ノリの品種改良、養殖に関する情報の提供や技術指導などを行うとともに、アサリなどの貝類について、資源生態調査、増殖手法開発、および適切な資源管理のための技術指導などを行っています。

また、東京湾における水質及びプランクトンを調査し、結果を「東京湾海況情報」、「貧酸素水塊速報」として公開するとともに、資源増大のため、水産生物と環境の関係について研究を行っています。



養殖ノリの生育状況調査

貧酸素水塊速報等の発行

内水面水産研究所

河川湖沼に生息している有用魚類の生態や生息環境、漁業資源の維持増大、漁場環境の保全などについて調査研究を行うとともに、漁場環境保全技術や放流技術の普及・指導を行っています。

また、内水面養殖業の振興を図るため、養殖技術の開発、魚病診断や養殖管理技術の指導を実施しています。



張網



魚介類相調査



ホンモロコシの養魚指導



富津生産開発室

沿岸域の水産資源の増大を図るため、富津生産開発室では、ヒラメ、マコガレイ、勝浦生産開発室ではマダイ、アユの放流用種苗を生産し、漁業関係団体へ配布するとともに、良質で大量の種苗を生産するための稚魚の飼育法や魚病対策、餌料生物の安定培養などの技術開発を行っています。

また、栽培漁業に関する技術の指導並びに知識の普及を行っています。



種苗生産中のヒラメ仔魚



ヒラメ成魚

種苗生産研究所

勝浦生産開発室



ふ化直後のマダイ仔魚



放流後のマダイ種苗